

研究機関：広島大学

研究課題名	血液疾患における巨核球形態の臨床的意義の検証
研究責任者名	広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫
研究期間	2020年8月21日(承認日) ~ 2023年12月31日
対象者	2015年1月から2020年7月の間に、広島大学血液内科にて骨髄穿刺・骨髄生検検査を受けた患者さん。
意義・目的	骨髄穿刺標本・骨髄生検標本における巨核球形態の意義に関しては、十分に解明されていないところがあります。新たに巨核球の形態分類を作成し、巨核球形態と疾患発症や臨床像との関連を明らかにすることで、血小板数に異常を来す疾患の診断能の向上、さらには病態メカニズムの解明することを目的に本研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報、採取された骨髄穿刺標本、骨髄生検標本を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、血液検査(血球数、肝機能検査、腎機能検査等)、血液疾患の診断名、血液疾患の治療歴、既往歴などです。 また骨髄穿刺塗抹標本と骨髄生検検査標本を用いて巨核球形態、その他の細胞の形態を観察します。個人を特定可能な情報は解析に用いません
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8554 広島市南区元町4-2-2 [Redacted contact information]